

授業科目 視覚機能評価学

【担当教員名】 魚里 博 他		対象学年	3	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○		
【概要・一般目標：GI0】 臨床場面における検査データの評価について学ぶ。眼科検査における疾患別の検査データの評価への応用を模倣する。模擬症例から考えられる問題点と目標設定、検査および訓練プログラムの立案についての理解を目標とする。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-3 4-6 7-9 10-12 13-15	白内障 術前術後の検査と評価 斜視 術前術後の検査と評価 糖尿病における眼筋麻痺の検査と評価 心因性視覚障害に対する検査と評価 加齢黄斑変性に対する検査と評価				講義：魚里博 講義：中村桂三 講義：江崎秀子 講義：石井雅子 講義：前田史篤
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	視能学 第二版	丸尾敏夫 他	文光堂	2011・18,000円＋税	
参考書					
その他の資料	適宜、プリントを配布する。				
【評価方法】 定期試験、授業参加状況、提出物を総合して評価する。			【履修上の留意点】		